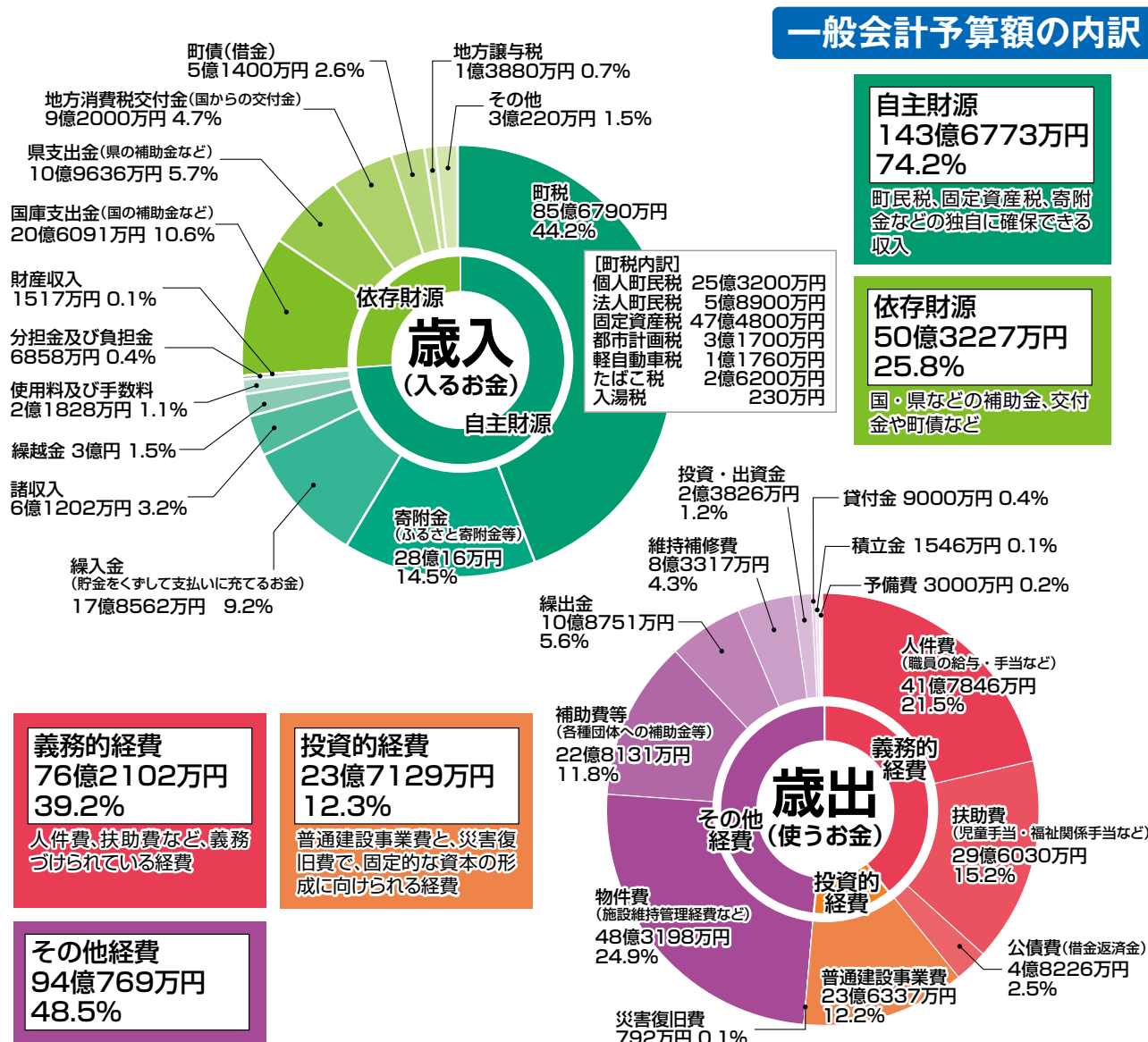
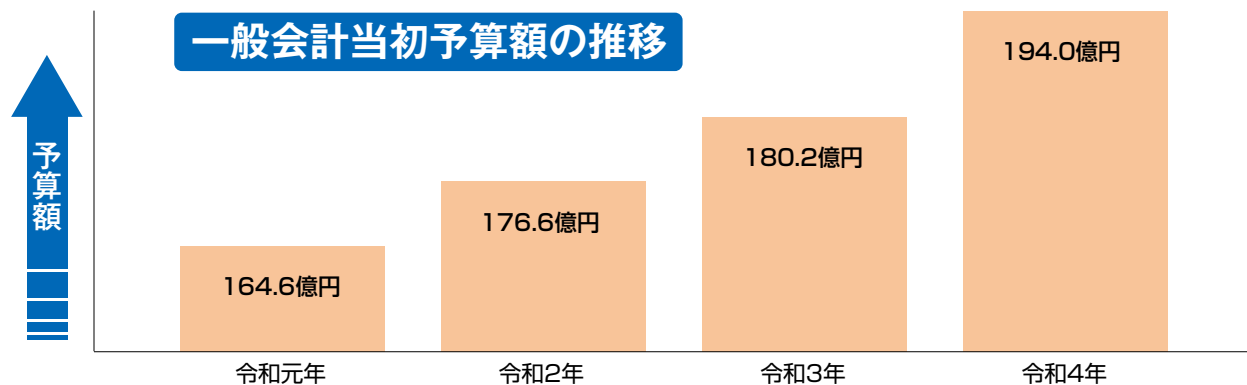


最大の予算

令和4年度 当初予算

3月議会では、令和4年度当初予算を審議するため予算特別委員会を設置しました。一般会計、特別会計、公営企業会計を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

予算の概要➡4ページ 注目事業➡6ページ 予算審議➡8ページ



一般会計194億円 可決

明日のため、次世代のために、過去

令和4年度一般会計予算は、194億円で、対前年度比13億8000万円の増額で、6特別会計と、2公営企業会計を合わせて、296億9321万円となり、過去最大の予算総額となった。

歳入全体の44.2%を占める町民税の総額は85億6790万円で、前年度比6億1740万円の増額。この要因は、個人町民税、法人町民税とも、コロナ禍以前の業績回復を見込んでいる。

ふるさと寄附金は、前年と同額の28億16万円を見込んでいる。

国庫支出金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金の増、保育所等整備交付金の増により、前年度比1億1632万円増額。

町債は南部地域包括支援センター整備事業に1億400万円、役場庁舎非常用発電機整備事業に8000万円、道路改築事業に9500万円など前年度比9800万円増の総額5億1400万円とした。

主な歳出は、注目事業で紹介する。

■各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	前年度比(%)	採決の状況
一般会計	194億0000万円	7.7	反対3：賛成11で可決
特別会計			
土地取得	10億7499万円	263.3	全員賛成で可決
国民健康保険	33億6278万円	2.8	反対1：賛成13で可決
後期高齢者医療	5億9140万円	13.3	反対1：賛成13で可決
介護保険	22億0118万円	3.5	反対1：賛成13で可決
幸田駅前土地区画整理事業	9233万円	▲56.2	全員賛成で可決
農業集落排水事業	3億7886万円	1.4	全員賛成で可決
水道事業会計			
収益的支出	7億8660万円	2.1	全員賛成で可決
資本的支出	4億5881万円	11.1	
下水道事業会計			
収益的支出	7億1919万円	5.7	全員賛成で可決
資本的支出	6億2707万円	45.2	
合計	296億9321万円	9.5	

反対

過大開発投資は見直しを

丸山千代子議員

財政規模以上の過大開発投資に反対する。長嶺福祉医療ゾーンは28億4000万円以上もあり、用地も縮小。狹の空き家利活用は住民合意が原則であり見直しを。スーパースイッチ、デジタル化推進は個人情報保護や情報漏えいの危険が懸念される。住民福祉の増進を求める。

反対

町有地大日蔭の使用検討したか

稲吉照夫議員

狹地区空き家利活用事業は地域住民の理解が得られたとは思われないこと、長嶺北部地区福祉医療ゾーン事業は適地か、第四次総合計画で、野場大日蔭地域に福祉医療構想があった。再検討したか。また、財政支出状況も不明である。予算から削除し、再度検討すべきである。

反対

借地解消こそ最優先すべき課題

伊澤伸一議員

国等への派遣職員は5年前の3人から10人に増え、うち人件費町負担は7人だ。ロケツリズムや藤田直行タクシーなどは必要性さえ疑問だ。昨年、3件の借地契約解消に伴い、代替施設等で4億円以上を支出した。借地解消への取り組みのない予算には反対だ。

討論

賛成

町民の命と暮らしを守る積極予算

都築幸夫議員

コロナ後を見据え、成長を成し遂げるために、各種事業を積極的に展開する予算が編成されている。町民の命と暮らしを守り、確かな成長実現のために、産業振興、環境、健康福祉、教育文化など、あらゆる分野に配慮された必要な予算が組み込まれており、賛成する。